



報道発表

2021年8月10日

オリヅルセラピューティクス株式会社の設立および同社への投資について

京都大学イノベーションキャピタル株式会社（本社：京都市左京区、代表取締役：楠美 公、以下「京都 iCAP」）を無限責任組合員とするイノベーション京都 2021 投資事業有限責任組合（以下「KYOTO-iCAP2 号ファンド」）は、京都大学 iPS 細胞研究所（以下「CiRA」）と武田薬品工業株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役：Christophe Weber、以下「武田薬品工業」）による共同研究プログラム T-CiRA の研究成果を活用する企業であるオリヅルセラピューティクス株式会社（本社：京都市左京区、代表取締役：野中 健史、以下「オリヅル Tx」）の設立、および同社へのシード投資を実行しました。

○今回の投資の概要

CiRA と武田薬品工業は 2015 年、人工多能性幹細胞（iPS 細胞）技術の実用化研究を加速させ、再生医療の社会実装や創薬開発に早期に繋げることを目的とし、T-CiRA における共同研究に合意しました。実働 10 年間に亘る T-CiRA の責任者は、山中 伸弥京都大学教授（CiRA 所長・公益財団法人京都大学 iPS 細胞研究財団理事長）が務め、武田薬品工業は総額 200 億円の研究資金の提供および人的、施設提供等の支援を行っています。この度、T-CiRA における 2 つの細胞治療プログラムにおいて非臨床試験における有効性が検証されたことに基づき、両者はこれら 2 つのプロジェクトの研究資産を、新たに設立されたオリヅル Tx に移管することに合意しました。

オリヅル Tx の事業は 2 つの柱から始めます。1 つ目は、T-CiRA で非臨床試験での有効性が検証された 2 つのプロジェクトである、吉田 善紀プロジェクトリーダー（CiRA 准教授）により研究が進められた iPS 細胞由来心筋細胞を用いたプロジェクトと豊田 太郎プロジェクトリーダー（CiRA 講師）により研究が進められた iPS 細胞由来膵島細胞を用いたプロジェクトを、臨床応用に導くことです。オリヅル Tx は、T-CiRA の知財を保有する京都大学と武田薬品工業との間で、両プロジェクトにかかる再生医療等製品の研究開発および提供を行うための特許権譲渡・研究資産使用許諾契約を締結しています。

2 つ目は、iPS 細胞の分化・培養・精製等に関する技術を iPS 細胞技術の研究開発を行う組織に提供し、iPS 細胞技術の実用化を支援します。また、T-CiRA からの研究開発の継続性を考慮し、山中教授をオリヅル Tx の科学技術諮問委員会の議長に招聘しています。山中教授は、「アカデミア研究者と武田薬品工業の研究者がワンチームとなり取り組む T-CiRA プログラムから得られた革新的な iPS 細胞研究の成果が、その早期社会実装に向けて、オリヅル Tx に受け継がれることを非常に嬉しく思います」と述べています。

オリヅル Tx は約 60 名の社員から成る組織です。それぞれの社員が、最先端の iPS 細胞に関する技術やノウハウ、あるいは卓越した医薬品研究開発の経験を持ちます。また、その全ての社員一人一人が、「iPS 細胞を社会に、そして患者さんに届ける」ことに対する強い使命感を持っています。代表取締役は、医師である野中 健史医学博士が務めます。野中代



表取締役は、「オリヅル Tx は、提供する製品やサービスについて高い品質や優れた工程を経てお届けすることをお約束します。日本で生まれ育った iPS 細胞を通じ、社会と患者さんへ再生医療を届けるために貢献して参ります」と述べています。

京都 iCAP は、オリヅル Tx の世界最高水準の研究成果と研究開発力を高く評価し、武田薬品工業と協働してオリヅル Tx を設立し、武田薬品工業と SMBC ベンチャーキャピタル株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：落合 昭）と共にシード投資をいたしました。また、株式会社三井住友銀行（本店：東京都千代田区、頭取 CEO：高島 誠）に、オリヅル Tx の設立準備にご協力を頂きました。

さらに、オリヅル Tx は、シリーズ A にて、株式会社三菱 UFJ 銀行（本店：東京都千代田区、取締役頭取執行役員：半沢 淳一）、SMBC ベンチャーキャピタル株式会社、三井住友信託銀行株式会社（本店：東京都千代田区、取締役社長：大山 一也）、三井住友ファイナンス&リース株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：橘 正喜）、株式会社メディアホールディングス（本社：東京都中央区、代表取締役社長：渡辺 秀一）、日本ベンチャーキャピタル株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：多賀谷 実）より増資を行いました。シードとシリーズ A を合せた、オリヅル Tx の第三者割当増資の総額は 60 億円規模となりました。その内、京都 iCAP は約 10 億円の投資を実行しました。

○オリヅルセラピューティクス株式会社 概要

設立 2021 年 4 月
事業内容 細胞移植に用いる再生医療等製品の開発・iPS 細胞関連技術を活用した創薬研究支援および再生医療研究基盤整備
本社所在地 京都市左京区 事業所所在地 神奈川県藤沢市
代表取締役 野中 健史（のなか けんじ）

○京都大学イノベーションキャピタル株式会社（京都 iCAP）について

京都 iCAP は、京都大学 100%出資子会社として、京都大学を中心とした国立大学から生まれた研究成果を活用する企業を対象に投資やその他の事業支援を行っております。当社は現在、総額 160 億円のイノベーション京都 2016 投資事業有限責任組合（以下「KYOTO-iCAP1 号ファンド」）（2016 年 1 月設立）と総額 180 億円の KYOTO-iCAP2 号ファンド（2021 年 1 月設立）を運営しています。KYOTO-iCAP 1 号ファンドの満期は最長 20 年、KYOTO-iCAP 2 号ファンドの満期は最長 17 年に設定しており、基礎研究に強みを持つ京都大学の研究成果の実用化を長期にわたって支援することが可能となっています。また、KYOTO-iCAP 2 号ファンドでは、一部資金を京都大学以外の国立大学発ベンチャーに投資することとしています。

【お問い合わせ先】

京都大学イノベーションキャピタル株式会社
〒606-8317 京都市左京区吉田本町 36 番地 1
事業企画部長（広報担当） 河野 修己
TEL：075-753-7588 FAX：075-753-7592
E-mail：info@kyoto-unicap.co.jp